



かんくろうの右腕・左腕シリーズオ2弾 々
『頑固の方しゃん』の巻前編 々

頑固といえばなんてってかたしゃんだったねえ。九州から大塚で東京に入っただけ...だからそそに努力家なのね。そそに努力家もするのでもなー。言葉をすると頭が固いというか、もうねえ。ホウシーがあるっつうか...よく言えばたい。わるく言えばかなしいね。

大学は空手で
なんのって1人で
直後にアハハ
ラーマン子バイ
バトルの後の
ってな言詞子。
とては1.2の



人学したんだけ。いやー強いの
アハハハ...!! って笑って
おかわりして
メシはうまかにやー!!
かんくろうの右腕
かなしだったね。

なにほろりかすたい。
あつて。見るだけアアア。かんくろうはけんかになると。いつもかたしゃんを10m離れたとこに月宛組んで座らせやな。
「おい!かたしゃん。俺がよかって言っただろ。たどてたすらだまって相手ばにらんとけな。ゆかったか。何もせんでよか。何も言わんでよか。たまごカン飛ばしとけよ」といつ。自分はけんか相手のとこにスタスタスタって歩みよってなあ。

か「おい!こらあ おまえたちや。本気があクソホケー!!
本気であの方にけんかぶうるとかあー?えー?あの方にー!!
あやうかあ。本気があウウー。アアア!まじりバイにいつあー!!」

っついうのさ。相手はかたしゃんか。ただたまご月宛組んでっつきにらんでいる。しかも大人いや中年の開っ相だ。ただアアア
す。味があるの。とれにカアア。かんくろうの口上。「あの方とか「本気か」とかいわれと。「いったいなんだあのバケモノは。あの落ち着いた木葉子は...どうとう強さうだなあ。今日のとこはやめとこかあ。なんでもんで10人中10人ビビってけんかにならなかつた。だってみんな立ってるとに1人座っや。背すののすして。関西にみんなで行ったときもそう。学ばうまえに。

「なんやわねー!!」「なんかさあー!!」と1つ2ついううちにかたしゃんか「とぎやんしたかあ」って手見れるとむ:うか!!
ビビる。そしてけんかせすにすむっわけ。イ便利は便利。人間なんたけと。何か人間じゃあな。ような...なんといかこの世のもののけはな。恐怖感をあたえるんだよね。

そんなかたしゃん。一世一代の恋かあったんよ。
語るにせつない。でも美しい恋。光り光る恋をしたんよ。東京に来るもせつた。東京年をしゃんがな!!せつたい九州年は守るけんーといつたから彼女がなかなかでまんでやな。

でもでましたんよ。「九州年しかげやらないかたしゃんか。バクまよ。大女子きな」といつ。あーく
女の子。かたしゃんも
まっくら。彼女のため
まほうくらいのエピソード。



まさに頑固なわけとこに傷しい人間バケモノのかたしゃん。
そんなかたしゃんか切れたたい。と。とれはね。
大女子きたた彼女と別れた日。たれらな。つらい日かたしゃんは家にやってきて「おーい今日はオレにとこにまじりあー!!」つぎ合えよーかたしゃんはとこに丸坊主になつた。っつ